川崎市人権施策推進基本計画（第1期実施計画）の令和5年度実施結果に対する川崎市人権尊重のまちづくり推進協議会からの意見・助言について

- ・事業・取組ごとの進捗状況区分（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ）について
 - 進捗状況区分が4つ（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ）あることを表記してほしい。
 - 区分（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ）を選択するときの基準があれば、表記してほしい。
 - 区分の表示方法について、分かりやすいものにしてほしい
（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ） ⇒ （A、B、C、D）
- ・「課題・来年度以降の方向性」の欄があるが、「課題」と「来年度以降の方向性」は欄を分けるべきである。
- ・評価する際には、より厳しく自己評価してほしい。
- ・順調に進捗したという事業よりも、課題が見つかったという事業が重要だと考える。
- ・発見した課題の具体的な記述や、問題がなかったなどの明確な記述があると意見が言いやすくなる。
- ・人権課題の当事者からの意見を「課題」に記載する必要がある。
- ・参加人数等の具体的な数値をできるだけ記載する必要がある。